

1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

授業内容や指導方法等、企業をはじめとする業界の意見を取り入れ、最先端の技術やマナーを身につけられる環境を整備し、社会で必要とされる人物を育成することを基本方針とする。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

本校の教育課程編成委員会は、学校法人まこと学園理事長の諮問機関としている。学校より実績と改善点や、次年度予定カリキュラム等の説明があり、委員より専門的視点からの意見や助言をいただく。現場(委員)からは業界で即戦力と成り得る人材育成のための業界の最新情報の提供や提案をもらい、教務部長を中心として、より実践的なカリキュラム構築を行う。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

平成30年9月1日現在

名前	所属	任期	種別
山内 義孝	一般社団法人 カットコミュニケーション協会	平成29年4月1日～平成31年3月31日	①
角 毅	株式会社イーストハム	平成29年4月1日～平成31年3月31日	③

※委員の種別の欄には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回(10月、2月頃)

(開催日時(実績))

第1回 平成29年10月24日 16:00～17:00

第2回 平成30年1月23日 16:00～17:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

- ・美容に対する興味を深めるための授業計画・・・現場で活躍する美容師によるデモンストレーション及び職業講話の実施
- ・授業への興味を高めるための指導方法・・・パワーポイントの活用
- ・国家試験の重要性を理解させる・・・美容師と言う職業の楽しさ、やりがいを感じさせるためにインターンシップの機会を増やす

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

常に消費者と対面している企業、団体等の連携して実習・演習等を行うことにより、より実践的な技術や接客サービス等を修得させる。また消費者のニーズを掴むことを目的に、外部講師による実習を積極的に設け、既存の科目等の授業内容や指導方法の改善を通じ、学生に対して実務に触れる機会を多く提供することで即戦力の育成に資することを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

- ・美容業界の実務者による最新技術(カラー)の実習
- ・ディーラーによるウィッグ製造体験

(3) 具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	科目概要	連携企業等
美容実習	カラー講習	(株)ISMS
美容実習	ウィッグ製造	(株)レジーナ

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1) 推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針
 実践的かつ専門的な能力を育成するためには、外部講師等を招聘し、実習を行うだけでなく、教員の指導力を向上させることも必要だと考える。そのため、学校は教員に対し、学内での勉強会のほか、外部団体等と連携した研修会等を通じて、最新の知識を確認・修得する機会を組織的に提供し、教員としての能力や資質の向上を図ることを方針とする。

(2) 研修等の実績
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 ・研修名「全国理容師美容師養成施設教員研修会」(連携企業等:日本理容美容教育センター)
 期間:10月14日～15日 対象:美容科教員
 内容:「美容師に活用できるパーソナルカラー」・「美をまとった香り、アロマセラピーのこの先」など
 ・研修名「ヘアケアマイスターインストラクター勉強会」(連携企業等:日本ヘアケアマイスター協会)
 期間:3月24日 対象:美容科教員
 内容:インストラクター資格を持つ教員を対象にした、試験のポイントや授業の進め方についての情報、意見交換、カラー

② 指導力の修得・向上のための研修等
 研修名「コラージュセラピー」(連携企業等:コラージュセラピスト・大石悠起)
 期間:11月28日(火) 対象:教職員
 内容:「コラージュが伝える未来」
 気になった雑誌の部分を切り抜き、いくつかの切り抜きを1枚の用紙に貼りつけていく心理療法の一つ。
 『自己理解を深める』『なりたい自分を明確にする』ために行うことを目的に、実際に作業を行い、深層心理を探る。

(3) 研修等の計画
 ① 専攻分野における実務に関する研修等
 専攻分野における実務に関する研修等
 複数の教員による実技指導や学科指導を目的として、日本理容美容教育センターの主催する教員資格認定研修への参加を計画している。

② 指導力の修得・向上のための研修等
 全教職員を対象に、学生に対する教職員個々の指導力、カウンセリング力の向上を目的に、専門家を招へいしての勉強会を計画している。また校外で実施されている民間のセミナーを調査し、学生指導に活かせる研修会への参加を計画している。

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1) 学校関係者評価の基本方針

学校関係者評価委員会の提言を踏まえ、学校運営や教育活動等ガイドラインの各評価項目について改善することで、学校の「質」の向上を図ることを基本方針とする。

(2) 「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1) 教育理念・目標	(1) 教育理念・目標
(2) 学校運営	(2) 学校運営
(3) 教育活動	(3) 教育活動
(4) 学修成果	(4) 学習支援
(5) 学生支援	(5) 学生支援
(6) 教育環境	(6) 教育環境
(7) 学生の受入れ募集	(7) 学生の受入れ募集
(8) 財務	(8) 財務
(9) 法令等の遵守	(9) 法令等の遵守
(10) 社会貢献・地域貢献	(10) 社会貢献・地域貢献
(11) 国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 学校関係者評価結果の活用状況

学校関係者評価委員会から、学生の受入れ募集について、学校説明会等での説明が不十分ではないか、高校生のニーズと業界の実態にミスマッチが起きているのではないかと提言を受け、募集時にサロン等の現場の見学会を企画する等して、入学者の確保を図っている。これは中退率の低減にも繋がっている。

(4) 学校関係者評価委員会の全委員の名簿

平成〇年〇月〇日現在

名前	所属	任期	種別
野々村 剛	株式会社野々村美容商事社	平成29年4月1日～平成31年3月31日	企業等役員
山本 照保	山本株式会社	平成29年4月1日～平成31年3月31日	企業等役員
尾崎 正延	有限会社オザキ	平成29年4月1日～平成31年3月31日	企業等役員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例) 企業等委員、PTA、卒業生等

(5) 学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.berufort.ac.jp>

公表時期: 平成29年10月31日

5. 「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と連携して学校運営を行っていくために、当該企業等に対して本校の基本情報を公開し、法令で求められた情報はホームページで公開する。

(2) 「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の教育目標、特色、校長名、所在地、連絡先、学校の沿革
(2) 各学科等の教育	募集学科、資格取得と主な就職実績
(3) 教職員	教職員数・学校組織
(4) キャリア教育・実践的職業教育	就職支援の取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	設備紹介、イベント紹介
(6) 学生の生活支援	学生の住環境サポート(一人暮らし支援制度)
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、活用できる経済的支援(奨学金、教育ローン)
(8) 学校の財務	資金収支計算書・事業活動収支計算書・貸借対照表
(9) 学校評価	自己評価、学校関係者評価の結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他())

URL: <http://www.berufort.ac.jp>